

GSI Creos

*Produce the Future* 次代を創る

特集 中期経営計画 (2018-2020) .....	3
株主の皆様へ .....	1
セグメント別概況 .....	7
トピックス .....	8
連結財務諸表 .....	9

株式会社GSIクレオス

証券コード8101

第89期 中間株主通信

2018年4月1日から2018年9月30日まで



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第89期中間期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長

吉永直明

## 第89期中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害の影響が懸念されたものの、引き続き企業収益や雇用・所得環境の改善が進むとともに、個人消費も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米中貿易摩擦の深刻化への懸念が払拭されず、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況下、当中間期の業績は、売上高は、前年同期比3,516百万円、5.4%増収の68,889百万円、売上総利益は、前年同期比169百万円、2.6%増益の6,647百万円、営業利益は、前年同期比230百万円、30.1%増益の997

百万円、経常利益は、前年同期比251百万円、31.7%増益の1,043百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比250百万円、51.7%増益の736百万円となりました。

### 第89期中間期業績

売上高	68,889百万円	前年同期比	5.4%
営業利益	997百万円	前年同期比	30.1%
経常利益	1,043百万円	前年同期比	31.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	736百万円	前年同期比	51.7%

## 中期経営計画（2018-2020）および通期の見通し

当社は、本年8月に3か年の中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）を公表しました。計画の詳細は、次ページ以降の特集「中期経営計画（2018-2020）」に記載しております。

下半期の経営環境につきましては、先行き不透明な状況が続くと思われませんが、海外売上高の拡大、収益性の向上やリスク管理の徹底など、中期経営計画における重点施策を

着実に実行し、収益基盤と財務体質の強化を図ってまいります。

### 第89期通期見通し

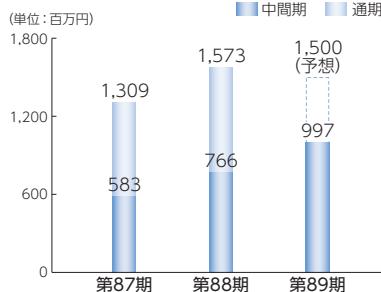
売上高	130,000百万円
営業利益	1,500百万円
経常利益	1,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000百万円

### 業績の推移(連結)

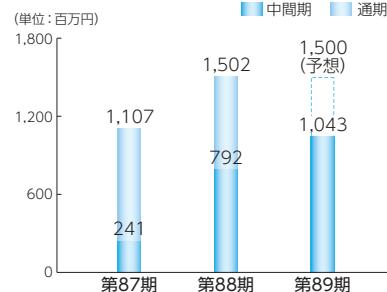
#### 売上高



#### 営業利益



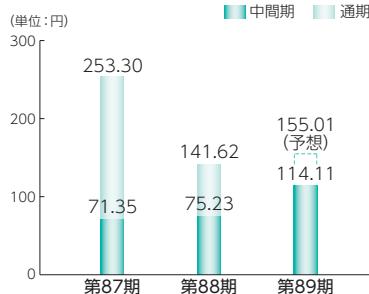
#### 経常利益



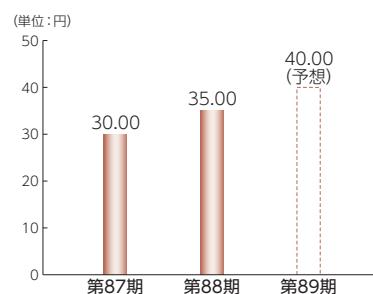
#### 親会社株主に帰属する当期純利益



#### 1株当たり当期純利益\*



#### 配当金\*



\*当社は、2017年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施いたしました。1株当たり当期純利益および配当金につきましては、第87期の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

# 私たちの企業理念

## ■ 存在理念

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。

私たちは、次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサーとして、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、GSIクレオスと価値を共創するすべての当事者の幸せを実現します。

## ■ 経営理念

**社員とともに** GSIクレオスにとって、人的資本こそが企業価値を創造する源泉であります。

私たちは、GSIクレオスを共に創るプロフェッショナル人材の開発に投資をおしめず、社員一人ひとりが、発揮した能力と意欲に応じて喜びと誇りを享受しながら、企業価値の創造に参画できる経営を実行します。

**株主とともに** GSIクレオスにとって、株主は永続的な成長と発展の柱石であります。

私たちは、安定的に企業価値を高め続けることが、株主への最大の貢献であると考え、企業価値の増大に資する事業活動に専心し、株主に対するオープンかつインタラクティブな経営を実行します。

**取引先とともに** GSIクレオスにとって、取引先は共に成長するパートナーであります。

私たちは、最良のパートナーを求めるとともに、自らも選ばれるための要件を満たし続けて、市場合理性にもとづく対等な関係を保つことで、常に学習し高め合う創造的な経営を実行します。

**市場とともに** GSIクレオスにとって、市場とは、価値観を共有する生活者であります。

私たちは、私たちの確信する価値観にもとづいて、世界中から最高のリソースを見出し、挑戦的にビジネスを展開し、生活者の期待を創り、期待に応える経営を実行します。

**地球環境のために** GSIクレオスにとって、地球環境の保全は、生活の場に対する信実であります。

私たちは、私たちの推進する事業活動の一環として環境保全に取り組むことで、より多くの人や組織とともに地球環境保全活動へ参加する経営を実行します。

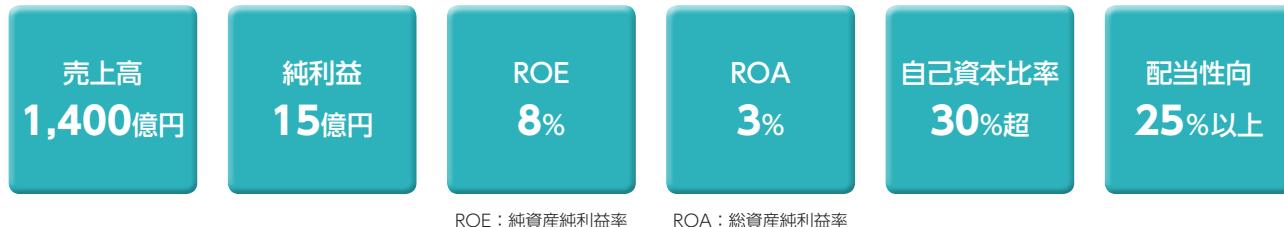
**会社組織のために** GSIクレオスにとって、会社組織は、個の感性と叡智を結集し、最大限に高め合う器であります。

私たちは、個人の役割と成果責任を明確にして権限を委譲し、自律する強い組織をつくることで、市場に直結した判断と迅速な決定を可能にし、環境の変化にダイナミックに適応する経営を実行します。

## ● ビジョン ●

ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する

ニッチな分野とは、市場規模の大小を問わず、広範囲な対象事業領域の中で、メーカーが直接攻めにくく、他商社の追随を許さない、当社が得意としている商材や事業分野をいう。



## ● 基本方針 ●

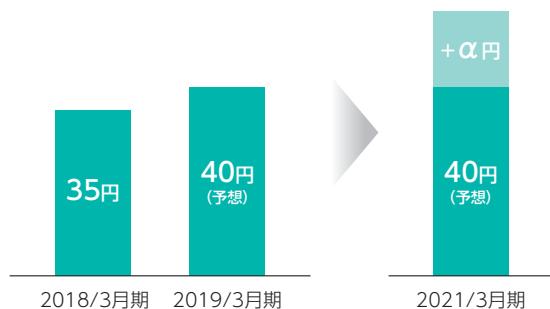
「**進化と成長**」をキーワードにして組織・人の強化を図り、  
当社グループの強みを総合力として活かし、新たな価値を創造し提供する。



## ● 重点施策 ●



## 配当・資本政策



### 基本方針

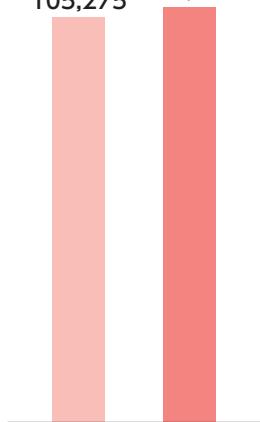
- 株主還元は、「配当」を基本とし、安定的かつ継続的に実施する。
- 配当性向は、25%以上を基本水準とする。
- 「自社株取得」は、市場環境や資本水準等を総合的に勘案し、機動的に実施する。

## 事業戦略

### 繊維事業

#### 売上高 (百万円)

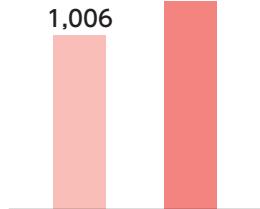
105,275    108,000



2018/3月期    2021/3月期

#### 営業利益 (百万円)

1,006    1,200



2018/3月期    2021/3月期

### 注力分野・事業

- 独自性、機能性を有する原糸、生地、製品
- 素材力を活かしたOEM・ODM製品販売

### 戦略

- 強みである原糸・生地分野をコアにした、企画、開発、製造、販売までのバリューチェーンの徹底強化

### 施策

- 当社海外拠点との連携により、高付加価値を創造する体制構築
- 部門連携による営業機能の機動力強化

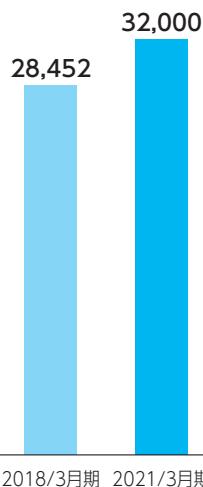
### 投資

- 競争力のあるバリューチェーン構築に向けた、素材開発およびECビジネスへの積極投資

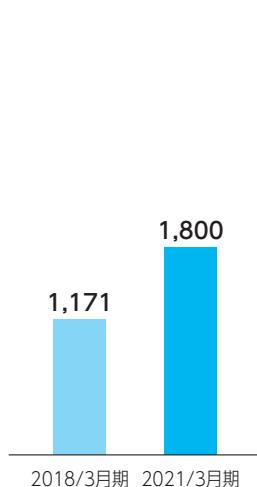
## 事業戦略

## 工業製品事業

### 売上高 (百万円)



### 営業利益 (百万円)



### 注力分野・事業

- 化学（塗料原料、模型用塗料）
- 自動車（複合材、製造設備、工業資材）
- 電子（半導体材料、半導体OEM向け部材）

### 戦略

- 環境、エネルギー分野をコア事業分野と定め、海外ネットワークと高い専門性を活かした事業開発と展開
- 商品、サービスの付加価値向上に向けたメーカー的機能の充実化
- R&D、技術拠点の拡充

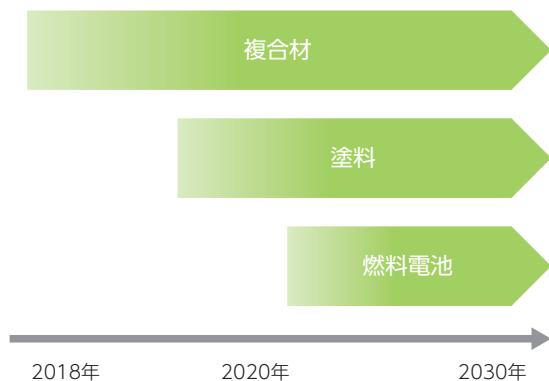
### 施策

- 事業を「化学品」、「機械・材料」、「ホビー・ライフ」の3分野に分け、情報・専門性の高度化と新たな事業機会創出の促進

### 投資

- コア事業分野における事業成長を加速的に行うためのM&A、事業提携の推進

## ナノテクノロジー事業



### 注力分野・事業

- 塗料関連（防錆・耐衝撃・耐摩耗機能を有する塗料等）
- 複合材関連（スポーツ用品、自転車、釣竿等）
- 燃料電池関連（高触媒耐性の電池電極等）

### 戦略

- 当社カーボンナノチューブ（CNT）の特異性（機械的特性、触媒担持体）が強みとなる分野、市場への集中的な取り組み

### 施策

- 国内外の事業パートナーと連携した、グローバルベースでの市場開拓、事業開発（アジア、北米、欧州、中東）

## セグメント別概況

### 繊維事業

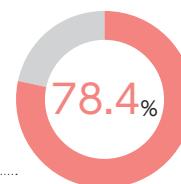


#### 主要商品：

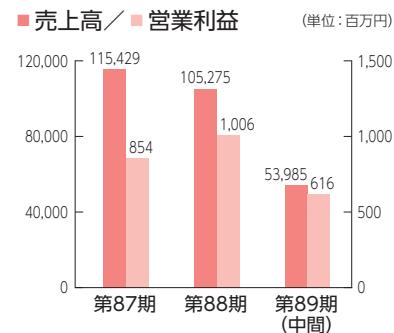
繊維原料、テキスタイル、  
レッグ・インナー・  
アウターウェア 他

売上高	53,985百万円	
	前年同期比	5.1%
営業利益	616百万円	
	前年同期比	34.8%

#### 売上構成比



- 機能性の高い原糸および生地 of 海外販売は大きく増加しました。一方、企画提案型の婦人ファンデーション取引は減少しました。
- 米国向けのアパレル用生地 of 取引と婦人ニット製品の輸入販売が増加し、アウター製品のOEM取引は堅調に推移しました。



### 工業製品事業

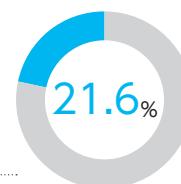


#### 主要商品：

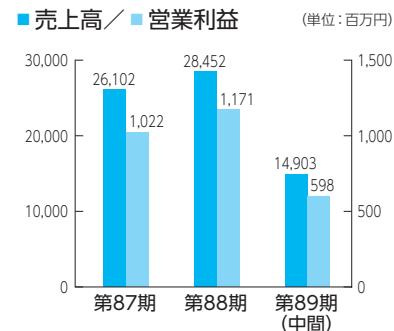
化学品、機械・材料、  
ホビー・生活関連品 他

売上高	14,903百万円	
	前年同期比	6.4%
営業利益	598百万円	
	前年同期比	9.8%

#### 売上構成比



- 欧米やアジア向けの塗料原料と中国製半導体基板が好調に推移し、国内のフィルムおよび化粧品原料、米国向けの化学品の取引も伸長しました。
- ホビー関連取引は、プラモデル用塗料が増加しました。
- ナノテクノロジー事業は、カップ積層型カーボンナノチューブ「カルベール®」の特徴を活かし、複合材、塗料などの分野において事業化を進めています。



## ■生分解性プラスチック市場に本格参入

当社は、環境保全型ビジネス拡大の一環として、欧州の大手生分解性プラスチックメーカーであるノバモント社（イタリア）と日本における代理店契約を締結することで合意し、本年10月より同社の生分解性プラスチック（製品名：マタービー）の輸入販売を開始しました。今後は、当社がプラスチック事業で培ったノウハウとその販路を活用しながら、様々な分野の顧客に向けて、環境配慮に資する樹脂原料からプラスチック製品まで、幅広く販売してまいります。

マタービーは、産業用でんぷん・植物油などの植物資源やバイオポリマーを主な原料とする、欧米で最も使用実績のある生分解性プラスチックです。優れた生分解性を有する一方で、一般的なプラスチック樹脂原料とほぼ同等のプラスチック成形が可能であることから、世界中で様々な用途（コンポストバッグ・レジ袋・紙ラミネート・射出成形品等）に活用されており

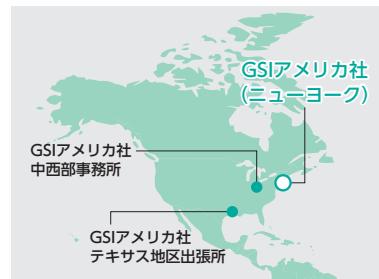


マタービーを用いた生活用品

## ■米国・テキサス州（ヒューストン）に拠点を開設

当社は、米国現地法人であるGSIアメリカ社の傘下に、GSIアメリカ社テキサス地区出張所を開設し、本年10月より営業を開始しました。

近年、日系企業を含む大手企業のテキサス州への進出が続いており、当社グループは、新拠点を活用し、これら企業の工業製品分野における新たな需要を取り込むとともに、アリゾナ州、コロラド州やカルフォルニア州などの南西部の営業力を強化し、北米事業をさらに拡大してまいります。また、この出張所をメキシコ市場深耕のための拠点としても活用してまいります。



北米の拠点

## ■テレビショッピング向け新ブランド「BonMatelier（ボンマテリエ）」の販売を開始

当社は、近年、テレビショッピング番組（QVC）におけるアパレル製品の拡販に取り組んでおり、その一環として、新ブランド「BonMatelier（ボンマテリエ）」を立ち上げ、本年5月20日のオンエアを皮切りに販売を開始しました。

このブランドは、上質な素材の使用により着心地の良さにこだわるとともに、さりげなくトレンドを取り入れて30～40歳の大人の女性を綺麗に見せることをコンセプトとして、カットソー、カーディガン、ワンピースやボトムなど、幅広いラインナップを展開してまいります。



2018年春夏コレクション

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)<sup>(注)</sup>

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期	
	2018年3月31日現在	2018年9月30日現在	
資産の部	流動資産	52,087	52,267
	固定資産	10,589	10,464
	有形固定資産	4,407	4,387
	無形固定資産	620	558
	投資その他の資産	5,562	5,518
資産合計	62,677	62,731	
負債の部	流動負債	42,895	42,725
	固定負債	865	755
負債合計	43,760	43,481	
純資産の部	株主資本	18,090	18,600
	その他の包括利益累計額	826	650
純資産合計	18,916	19,250	
負債純資産合計	62,677	62,731	

### ポイント① 資産

売上債権の増加等により、前期末比54百万円の増加。

### ポイント② 負債

借入金の減少等により、前期末比279百万円の減少。

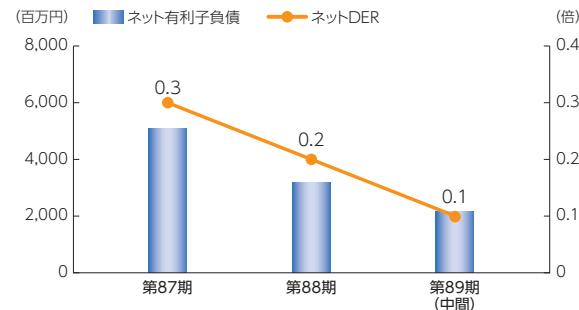
### ポイント③ 純資産

親会社株主に帰属する中間純利益による株主資本の増加等により、前期末比333百万円の増加。

### 純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)<sup>(注)</sup>



### ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



### 当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報については、下記のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

<http://www.gsi.co.jp/ir>

(注) 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当期から適用しており、前期(第88期)の数値につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	2017年4月1日～ 2017年9月30日	2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上高	65,372	68,889
売上原価	58,895	62,242
売上総利益	6,477	6,647
販売費及び一般管理費	5,710	5,650
営業利益	766	997
営業外収益	150	156
営業外費用	124	109
経常利益	792	1,043
特別利益	2	0
特別損失	27	6
税金等調整前中間純利益	767	1,037
法人税等合計	282	301
親会社株主に帰属する中間純利益	485	736

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	2017年4月1日～ 2017年9月30日	2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,221	1,479
投資活動による キャッシュ・フロー	△555	△119
財務活動による キャッシュ・フロー	△63	△2,029
現金及び現金同等物の 中間期末残高	14,942	11,915

### ポイント④ 売上高

繊維事業、工業製品事業の売上高がともに増加し、前年同期比3,516百万円の増加。

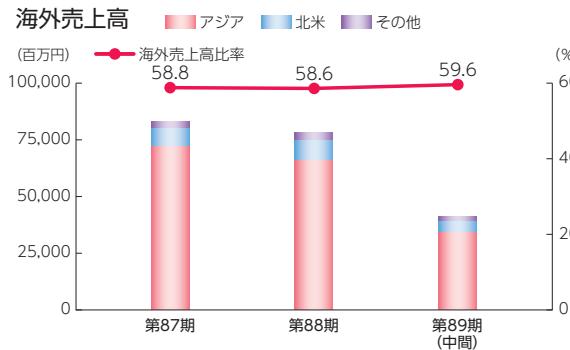
### ポイント⑤ 営業利益

売上高の増加と物流費等の販売費の減少により、前年同期比230百万円の増加。

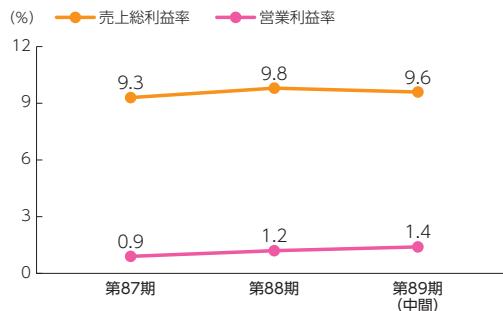
### ポイント⑥ 親会社株主に 帰属する中間純利益

為替差益の増加に加え、前中間期に投資有価証券評価損等を計上していたことなどから、前年同期比250百万円の増加。

## 海外売上高



## 売上総利益率(%)／営業利益率(%)



## 会社概要 (2018年9月30日現在)

### 会社の概要

会社名	株式会社GSIクレオス
本社設立	東京都千代田区九段南二丁目3番1号 1931年10月31日
資本金	71億86百万円
従業員数	566名(連結)
拠点	国内 7ヶ所 海外 19ヶ所
連結子会社	国内 8社 海外 7社
ホームページ	<a href="http://www.gsi.co.jp">http://www.gsi.co.jp</a>

### 株式の状況 (2018年9月30日現在)

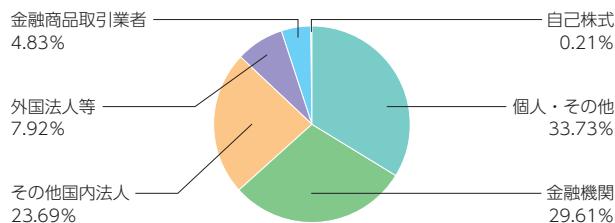
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	6,464,971株 (自己株式13,884株を含む)
単元株式数	100株
株主数	5,206名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	932	14.45
株式会社みずほ銀行	318	4.93
株式会社三菱UFJ銀行	317	4.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	249	3.86
日本生命保険相互会社	232	3.61
東レ株式会社	198	3.07
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	172	2.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	152	2.36
野村信託銀行株式会社(投信口)	101	1.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	101	1.57

(注) 持株比率については、自己株式(13,884株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

### 株主構成(所有者別株式数の割合)



### 取締役・執行役員

#### 取締役

代表取締役社長 社長執行役員	吉 永 直 明
常務取締役 常務執行役員	中 山 正 輝
常務取締役 常務執行役員	荒 木 靖 司
取締役 執行役員	新 美 一 夫
取締役 執行役員	大 西 文 博
取締役 執行役員	西 村 裕 樹
社外取締役	服 部 和 徳

#### <監査等委員>

取締役	松 下 康 彦
社外取締役	後 藤 芳 浩
社外取締役	早 野 貴 文

(注) 松下康彦は、常勤の監査等委員であります。

#### 執行役員

窪 田 満	鈴 木 恵 太
大 賀 浩 司	田 村 雄 一
森 田 雅 彦	

### 株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金	
受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス <a href="http://www.gsi.co.jp/ir/notice">http://www.gsi.co.jp/ir/notice</a> (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

